

事前評価個表

整理番号	72
------	----

地域（地区）名	<small>やまぐち</small> 山口地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山口県	対象市町村	山口市ほか4市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区の民有林森林面積は114千ha、人工林面積は46千haで民有林人工林率は40%である。</p> <p>北部地域は、県下でも有数の農林業地域である阿東地区、重源上人の東大寺再建用の用材献木で知られる徳地地区、カルスト台地の良質な土壌を背景に成立した美秋林業地域など、まとまった人工林が存在し、佐波川をはじめとする河川上流域にもあたるため、木材生産と水源涵養等の公益的機能の両面から、森林管理を適切に行う必要がある。</p> <p>南部地域は、温暖・少雨の瀬戸内海気候であり、林業地はないが、地質は概して花崗岩等のせき悪地が多く、平成21年7月中国・九州北部豪雨では、防府市を中心に大きな豪雨災害が発生した。また、自然植生として広く存在するアカマツが松くい虫被害を受けており、植栽による樹種転換も含めた適切な森林管理を行い、土砂災害等に強い森林づくりを進める必要がある。</p> <p>当地域のスギ・ヒノキ人工林のピークは10～11齢級と充実してきているが、木材価格の低迷による林業採算性の悪化や森林所有者の高齢化等により、間伐等の施業が実施されない状況が見られ、木材生産のみならず水源の保全や山地災害の防止など、森林の持つ公益的機能の低下が懸念されている。</p> <p>このため、本計画では、森林施業の集約化を推進し、利用間伐等の効率的な実施により、木材生産量の増大を目指す。また、手入れ不足の人工林における間伐等の森林整備の着実な実施により、森林の多面的機能を高度に維持・発揮させる。</p> <p>また、農山漁村地域整備交付金事業と連携し、地域内の森林整備を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,580ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,419,168千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.07 (総便益(B) = 28,358,517千円、総費用(C) = 5,592,252千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の持つ公益的機能の高度発揮の観点から事業実施の必要性は高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林整備によって、水源かん養・国土保全等の公益的機能の確保に有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 山口

山口県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	10,051,989	
	流域貯水便益	2,732,794	
	水質浄化便益	4,665,418	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,111,495	
	土砂崩壊防止便益	65,543	
環境保全便益	炭素固定便益	2,536,973	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,194,305	
総 便 益 (B)		28,358,517	
総 費 用 (C)		5,592,252	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,358,517}{5,592,252} = 5.07$		

森林環境保全整備事業 山口地域(山口県) 概要図

